

も どうし

# 議会だより

No.28

平成27年10月9日発行  
山梨県道志村議会

日本一の水源の郷をめざす道志村



みんなで力をあわせてがんばるぞ

- 臨時会／定例会 ..... P2～3
- 決算認定（学校建設で増額） ..... P4～5
- 一般質問（これが聞きたい） ..... P7～11
- あの一般質問は・今 ..... P14
- 紹介／がんばる人紹介 ..... P15～16

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

# 9月 定例会

# 条例制定

9月定例会は9月8日から18日まで開催され、一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例制定、平成26年度決算認定などを審議し、原案通り可決承認しました。

## おもな審議事項

### ●一般会計補正 9300万円を追加 議決

#### おもな財源

- ・国庫支出金 ……△1500万円
- ・繰越金 ……△1億2300万円
- ・村債 ……2億1600万円
- ・村税 ……500万円

#### おもな使いみち

- ・交通安全対策費（街路灯設置） ……1500万円
- ・学校維持費（水道本管移設など） ……1800万円
- ・災害復旧費（白井平、久保地区災害復旧） ……1980万円
- ・観光費（どうしの湯改修工事など） ……1200万円

### ●条例制定、改正 議決

#### 条例制定1件

- ・マイナンバー制度の導入により、条例の制定

#### 改正3件

- ・手数料条例の一部を改正
- ・住民基本台帳条例の一部を改正
- ・総合計画審議会条例の改正

### ●※請願 採択

教育環境整備のため、30人以下学級とし、義務教育費国庫負担金制度の国負担割合を二分の一に復元し、教育予算の拡充を求める請願で、国の関係機関に意見書を提出

## 8月4日 平成27年第4回臨時会

## おもな審議内容

### ●一般会計補正 1600万円を追加

#### おもな財源

- ・国庫支出金 ……1300万円
- ・繰越金 ……340万円

#### おもな使いみち

- ・政策費（負担金、交付金など） ……480万円
- ・商工費（紹介用DVD作成） ……580万円
- ・社会教育費（盆おどりの補助） ……310万円

### ●専決処分の承認 ふるさと創生推進室を置く

※請願とは国、地方公共団体に願い出ること



# 議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



## Q ふるさと納税の増額策は

- 他の自治体と比較して少ないのではないか

A 新たな財源確保策として取り組む

あなたとふるさとをつなぐ  
ふるさと納税



## Q 介護慰労金の増額は

- 高齢者等の在宅介護は、家族の負担が大きいため介護慰労金を増額したらどうか

A 介護給付費抑制としても有効!

## Q 人間ドックの補助金は

- 村で助成する補助金の限度額はいくらか

A 男性 2万円、女性2万5千円  
(26年度実績14人)



# 万円など 総額31億円

(7会計の合計) 8億8706万円

\* 学校建設費(中学校一期工事) 平成26年発注額 4億5750万円  
平成26年度決算額 2億2540万円 (繰越額 2億3210万円)

## 平成26年度 一般会計の決算

- 歳入(はいつてくるおかね) … 23億4439万円
  - 歳出(どうつかわれたか) …… 22億1264万円
  - 歳入歳出差引(のこったおかね) 1億3175万円
- 繰越事業に充当するお金 …………… 3389万円  
純繰越金(27年度の事業で使うお金) …… 9786万円

(単位:千円以下切捨て)

## 平成26年度 特別会計の決算

(単位:千円以下切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	3億1467万円	3億1467万円
国民健康保険診療所	1億3485万円	1億3485万円
簡易水道事業	9651万円	9631万円
介護保険	2億289万円	1億9968万円
介護サービス事業	131万円	131万円
浄化槽事業	1億69万円	1億59万円
後期高齢者医療	3965万円	3965万円
合計	8億9057万円	8億8706万円

# \* 学校建設費2億2540

【一般会計 22 億 1264 万円・特別会計

## 【一般会計の目的別歳出】

### ● 議会費

26年度 4274万円  
25年度 3721万円

### ● 総務費

26年度 3億2959万円  
25年度 3億 461万円

### ● 民生費

26年度 2億5759万円  
25年度 2億4039万円

### ● 衛生費

26年度 1億 487万円  
25年度 1億 344万円

### ● 農林水産業・商工費

26年度 2億9252万円  
25年度 2億2898万円

### ● 土木費

26年度 1億6100万円  
25年度 1億8489万円

### ● 消防費

26年度 3億4615万円  
25年度 1億8281万円

★ 消防救急無線デジタル化整備工事負担金のため増加

### ● 教育費

26年度 3億8675万円  
25年度 1億6998万円

★ 学校建設費により増加

### ● 災害復旧費

26年度 311万円  
25年度 616万円

### ● 公債費(借金の支払い)

26年度 2億7437万円  
25年度 2億5726万円

### ● 諸支出金

26年度 1394万円  
25年度 1億6085万円

★ 公共施設整備等積立金の減少

**監査の結果** 財政の健全化判断の指標で、実質公債比率は5.9%と、早期健全化比率25%を大きく下回っているため、健全な財政状況であると判断する。また、各課の事務、事業執行状況については適正に処理されている。

## 9月定例会一般質問一覧

### ■ 水越 茂広 議員

1. マイナンバー制度のセキュリティ対策は
2. 全国学力テストの結果を公表すべきでは

### ■ 出羽 和平 議員

1. 小中一貫教育を目指しては
2. 小規模校の特性を生かした教育とは

### ■ 杉本 秀明 議員

1. これからの農業支援策は
2. 空き家を利用したIT企業誘致策は
3. 冬場の観光客対策は

### ■ 長田 達義 議員

1. 農村地域防災減災事業の進捗は
2. 地方創生事業、今年度の事業は

### ■ 山口 力 議員

1. 各種団体への補助金の減額理由は

# 一般質問 村政を問う

## 5人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会事務局で、10月末ごろ閲覧できます。

## 議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は12月に開催します。
- ・ 傍聴の定員  
本会議30人
- ・ 9月定例会の傍聴実績  
本会議4人
- ・ 問合せ  
議会事務局

☎ 0554-52-2112



水越茂広 議員

# Q マイナンバー制度の セキュリティ対策は A 国の独自回線に接続される

水越

「マイナンバー」

制度は、28年1月から  
利用が開始されます。

個人情報満載の制  
度であり、情報漏え  
い対策は自治体の重  
要な課題です。

個人情報を管理す  
るシステムと外部と  
やりとりするシステ  
ムは分離されるのか

総務課長

住基システム、税  
システムの管理サー  
バーとインターネット  
回線は、分離され  
ています。国の独自  
回線、「情報提供ネッ  
トワークシステム」  
に、接続されること  
になります。

Q ウィルス対策は

総務課長

今までは、村の管  
理サーバーは、他と

は、独立したシステ  
ムであったため、ウ  
ィルス対策は必要な  
かったが、制度開始  
に伴い国の基準に適  
応する高性能なウイ  
ルス除去システムを  
設置します。

Q 使用場所は区切  
られたスペースか

総務課長

管理サーバー室は、  
施錠管理され担当職  
員だけが入室できる  
ようにしています。

Q その他情報漏えい  
対策は

総務課長

端末については、  
パスワードで管理し  
ています。

Q 対策が制度開始  
に間に合うのか

総務課長

現在準備を進めて

おり、12月中には、  
機械処理を終える予  
定です。

水越

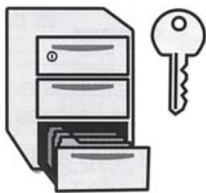
全国学力テストの  
結果を可能な範囲で  
公表すべきではない  
か

A いじめなどに  
つながるので公表し  
ない

教育長

本村のような、小  
規模自治体では、一  
村に一小中学校しか  
なく、少人数である  
ため個人の特定につ  
ながり、いじめ等の  
対象になる恐れがあ  
ることから、公表すべ  
きでないと考えます。

「再質問あり」



●カギ付き棚を用意



●ウィルス対策ソフトウェア  
導入アクセスパスワードを  
設定



# Q 小中一貫教育を 目指しては A 先進校に学び理解してから取り組む



出羽和乎 議員

## 出羽

平成28年度中には  
小中学校が完成し子  
供たちが安全に学べ  
る環境が整います。  
敷地を共有し校舎も  
隣接するので、一部  
の行事などを小中学  
校合同で行うなどの  
取り組みが容易にな  
ると思われまます。  
子供たちにとって  
良い制度とは何か、  
子供や地域の実態に  
応じて学力や社会性  
を育むようなユニ  
ークな教育活動が展開  
できるように、小中  
一貫教育の導入を議  
論する検討会を設置  
しては

## 教育課長

小中一貫教育の導  
入を目指す検討会の  
設置提案について、  
文部科学省は、小中

一貫教育が中1でい  
じめや不登校が増え  
る「中1ギャップ」の  
軽減や学力向上に有  
効とみて、小中一貫  
校を制度化するとし  
て改正学校教育法が  
可決され来年4月か  
ら施行されます。

また、同一敷地内  
に小中学校が設置さ  
れることから小中一  
貫教育は導入しやす  
い条件がそろいます。

しかし、現教育委  
員会では、本年4月  
より新体制で動き出  
し現在学校改築に全  
力を注ぎ完成を目指  
しています。

本村のように小中  
各一校の場合種々の  
連携をとおして、す  
でに小中一貫教育を  
実践しているのでは  
ないかと思っていま  
す。

今後、小中一貫教  
育については教職員  
との協議を始め先進  
校などの研修を実施

し、十分理解したう  
えで取り組んで行き  
たいと考えています。



11月完成予定の中学校

Q 小規模校の特性  
を生かした教育と  
は具体的にはどの  
ようなことが

A 個性を伸ばす  
教育課長

小規模校の特性を  
生かした教育とは、  
児童・生徒一人一人  
を全員の目で見ること  
が出来ることから、  
わかる授業を展開し  
ながら個性を伸ばす  
個人指導等を行い、  
「きめ細かな学習指  
導・生徒指導」を実  
施していきたいと思  
っています。

「再質問あり」

# Q これからの 農業支援策は A 道の駅の拡充・後継者を育成する



ひであき  
杉本秀明 議員

杉本

農業従事者は年々高齢化が進み減少しています。若者が農業に対し興味を持ち、農業に従事してみたいと言う政策が必要かと思えます。これからの農業をどの様に考えているか

村長

農家数は年々減少し、農地の荒廃も進んでいます。販売農家数は増加しており、道の駅「どうし」への出荷者が増加していることが要因と思われまます。小規模な兼業農家の育成については、来年度に計画している道の駅「どうし」直売施設の更なる充実や、本年度実施する駐車場整備工事においても一定の成果が期待で

きます。

なお、出荷量日本一を誇る「クレソン」については、農業者の減少が深刻な問題となっており、「青年就農給付金交付事業」も視野に入れ、新規就農希望者を募っていく考えです。

杉本

Q 空き家を利用したIoT企業など誘致策は

A 創業支援事業を8月から始めた

村長

村では今年8月から道志村創業支援事業をはじめました。

この事業は村内での創業を支援し村の産業の活性化および雇用の創出を図ることを目的として、村

内で新たな創業に要する経費および新たに創業する者を支援する経費に対して補助を行います。もちろんIoT企業についてもこの事業が十分活用できると思いま

す。この事業については、村ホームページで紹介しています。

杉本

Q 冬場は観光客が減少するが何か対策は

A 道志の湯、露天風呂を改修する

村長

本年度実施する道志の湯改修工事において、露天風呂の改修を行います。道志の湯の施設整備によ

り、観光客の増加と魅力ある滞在場所となるよう努めると共に、民宿・キャンプ場経営者や観光協会などと意見交換を実施し、道志村に何が

必要なのか等、今後の観光における方向性を話し合っていきたいと考えています。

「再質問あり」



改修予定の道志の湯

# Q 大久保土砂崩落 施設の路側工事は A 今年度測量設計 28年度に完成予定



長田

農村地域防災・減災事業の進捗はどうか。また、今年度の事業予定は

村長

平成27年度の事業内容は、現在契約済みが中神地擁壁第2工区、中神地擁壁第2工区、道坂用水路工事、防火水槽設置工事、板橋土砂崩落防止施設・堰口用水路測量設計用地調査業務委託、中島用水路測量設計用地調査業務委託です。今後契約予定分が、大栗橋耐震設計業務委託、大久保2工区測量設計用地調査業務委託となっています。事業費総額は繰越、現年合せて約1億5千万円で、そのうち89%が発注済みとなっています。

Q 大久保土砂崩落  
防止施設の路側  
工事は

村長

大久保土砂崩落防止施設の路側工事については、今年度は2工区の測量設計等が発注予定となっております。工事は平成28年度に実施する予定です。県発注工事に合わせ、村発注分の舗装改良工事も予定しており、平成28年度中には全体が完成する予定となっております。

Q 地方創生事業で  
今年度事業化出来るものがあるか

村長

A 7事業を実施している  
本年度は地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、道志村総合戦略策定事業、観光促進事業、創業支援事業、結婚相談事業、子育て支援事業、消費喚起プレミアム商品券発行事業、子育て世帯生活支援事業の7事業を実施しています。総合戦略策定完了を、平成28年3月を予定していますので今年度新たな事業を行う予定はありません。



「再質問あり」

生活支援事業の7事業を実施しています。総合戦略策定完了を、平成28年3月を予定していますので今年度新たな事業を行う予定はありません。



山口 ちから 議員

# Q 各種団体への 補助金減額理由は A 交付実績でなく政策課題の変化に対応

山口

各種団体への補助金が、当初予算で提示して協議したものを、2ヶ月ほどしてヒアリングをして減額をしている。減額したことは自体は予算の範囲内（執行権の範囲内）だと思いが、ヒアリングの時期は、要望書を出してから当初予算を決定する本会議までの間にすべきではないか

村長

団体補助金については、時代の変遷により、その時々の方策課題等の変化に対応しながら、交付を考えたければならぬと考えております。このことを考慮しながら、これまでの交付実績にとらわれる

ことなく、現状における地域振興のため、福祉の向上のため、限りある財源をどう配分するか、熟慮した結果、今回の削減予定になりました。

総務課長

今回、5月に団体のヒアリングを行った理由については、各団体からの平成26年度実績の提出期限が4月30日までとなっていることから、この実績と要望書を合わせて確認の上、ヒアリングを行うことが適正と判断し、5月に実施しました。

議会軽視ではないか

総務課長

団体ごとの削減理由ですが、東富士七里太鼓保存会は、他の類似団体との均衡を図りました。

商工会は会員数の減少と、事業内容についても精査が必要と判断しました。

体育協会は26年度事業実績で未実施事業があつたためです。

道志村子ども農村漁村協議会は5年以上経過しているため、自立を促すためにも削減が必要と判断しました。

議会への説明責任は、団体からの申請により、必要に応じて補助金の額が予算の範囲で変更する可

能力があります。額が確定すると、議会に報告し認定、承認をお願いすることになります。しかし、予算にない団体への補助を行うなど、補助事業の目的にそぐわない執行を行う場合は、あらかじめ説明責任が生じると思います。

事業執行と事業決定、また予算執行と予算決定に対して村長及び総務課長はどう思っているのか

総務課長

「事業決定と予算決定」は、議決行為であり、事業を執行するうえで、非常に重要なものと認識しています。

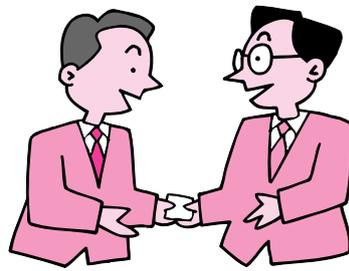
しかしながら、村長が冒頭に申し上げた通り、限りある財源の中で、行政コストの節減を図ることは、村を預かる執行権者として重要なことと考えています。

執行権者が自らの判断と責任により、予算を管理執行する権限については、地方自治法148条・149条に明記されております。

「再質問あり」



# 報 告



## ●校舎建設工事は順調にすすむ

平成27年9月17日

道志中学校の建て替え工事を視察しました。

最初に、現場事務所で工事経過写真や工程表により、設計・管理を委託している佐藤設計企画室より説明を受け、工事は順調に進んでおり、予定の工期である11月30日までに、無事完成するよう、請負業者共々努力しているとのことでした。

その後、工事現場を実際に見て回りましたが、内装工事の最中で、道志産の木材を床や壁に利用するなど、特色が生かされた造りとなっています。

また、各教室も十分スペースを取り空調設備も完備されて、学習環境に十分配慮されたものとなっています。

中学校では、引っ越しの日程も決まり、新校舎への引っ越しを心待ちにしております。

関係者の皆さんよろしくお願ひします。



校舎内部を視察

## 人口増加対策特別委員会

### ●政策部会

### 村に対して政策部会から提言を！

政策部会では、出会いサークル部会と異なる活動をしています。

今後の道志村はどういう方向にいけばいいのか。今、一番の課題は、人口が減って限界集落になったら困る。そうならないようにするにはどうしたらいいのかなどを、協議・検討して行政に一つでも多く提言できたらと話し合っています。

いま村では、今後10年間の基本構想となる道志村長期総合計画と、地方創生の事業である道志村地方版総合戦略の策定を進めています。

それらの中にも、議会からの提案を出して、道志村の未来に希望の持てるような提言をしていけたらいいと思っています。



政策部会での話し合い

# 議会活動

## ● 議会報の基本と編集技術を学ぶ

平成27年8月4日

広報研修会のはじめに、町村議会広報功労者表彰がありました。「どうし・議会だより」を立ち上げ、長年編集委員として頑張ってきた杉本秀明議員が表彰されました。おめでとうございます。

研修では「住民に読まれ、議会活動が伝わる」と題して議会報の基本と編集技術を議会広報サポーターの吉野政明先生より学びました。

自信をもって臨んだ広報クリニックでは、広範囲にわたってメッタ切りに合いました。う〜ん。ざんねん。



表彰された杉本議員

## ● 山梨県東部広域連合の課題は

平成27年8月24日

8月に第2回東部広域連合議会定例会が開催されました。3市3村18名のうち11名が新しく就任しました。

東部広域連合では、現在、養護老人ホーム「大鶴楽生園」民設事業に力を入れています。平成22年から検討・協議を重ね、新施設を建設して業務移譲する方針で社会福祉法人の募集をしています。

民設民営化の方針で進んでいますが、環境面や資金面で問題があり、福祉事業もいろいろむずかしい時代だと感じました。



業務委譲する方針の「大鶴楽生園」

## ● 里山地域と企業連携を見出す

平成27年9月6～7日

企業連携を見出す策を！

長野県根羽村で全国源流サミットが行われ、全国各地の上流、中流、下流域の関係と課題点を話し合いました。地方自治体は民間との連携を求め、企業は環境問題や地域貢献を意識する中、両者が連携出来るプログラムを、必要とする企業に提供する事が重要だと感じました。



根羽村での源流サミット



# あの一般質問は今...

平成26年12月定例会

## 質問

婚活イベント等次年度も開催予定はあるか

## 答弁

人口増加対策としても重要であるため、次年度も継続して行きます。

平成27年3月定例会

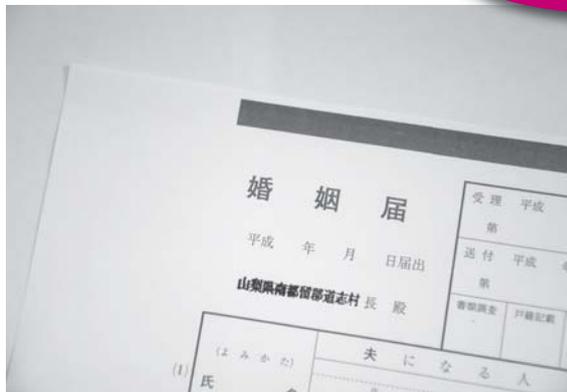
## 質問

結婚祝金は支給規定を改訂して増額できないか

## 答弁

他町村の規定を参考に、現行5万円を20万円に増額します。

## その結果今は



現在まで3組に支給しました。



本年度2回実施しました。

## 議会の考え

定住化促進策の一環として増額しました。若い世代が定住してくれることを望みます。

行政・結婚相談員が一体となって事業を継続していくことが重要です。

# 紹介 しょうかい

# 道志村保育所

道志村保育所では、今年度30名の子どもたちをお預かりしています。小規模の保育所なので、家庭的な保育を大切にしています。支えてくださる保護者の方々や地域の皆様には感謝の念に堪えません。

子どもたちは、プールやスイカ割りなどの行事を行い、毎日を満喫しています。クラス間の交流の機会も多く設けました。子どもたちにいたわりの心が育っているのを感じます。保育の場である保育所は、子どもに

とって初めての社会の場でもあります。豊かな社会経験を通して、生きる力を育てたいと思います。

平成27年4月から、「子ども・子育て支援新制度」が施行されました。新制度のポイントとして、

「地域の実情に応じた子育て支援の充実」や「市町村が実施主体」などが挙げられています。共働きの世帯が全国で1000万世帯を超えた現在、道志村においても共働きの家庭が増え、保育の必要性が高まっています。

これに伴い、道志村保育所では、8月に2つのクラスを合同する運営方針に変更しました。今後とも、ご協力のほどよろしく願います。

## 道志村保育所の 保育目標

集団行動や世代間交流を通し、協調性と自立の心を育てる！



季節のイベント②



季節のイベント①



未満児教室



ヒップホップダンス



給食タイム



世代間交流

# がんばる人紹介

## 安全安心の村づくり

団員のご家族をはじめ、住民の皆さん、消防関係各位におかれましては、日頃より消防団活動にご理解ご協力とご支援を賜りまして、本当にありがとうございます。

また、生業を持ちながら、「自らの地域は自らで守る」という崇高なる郷土愛護の精神と義勇の精神に基づいて、昼夜を問わず災害活動に従事し、消防団を支えていただいている団員に心から感謝しています。

「消防精神」という言葉があります。「天地裂け地くずるとも驚くに足らず猛火洪水なんぞ逡巡せん我らの



道志村消防団  
団長 北浦 晋



使命この際にあり任侠一片まさに身を挺すべし勇敢沈着また機敏發揮せん消防大精神」消防団は道志村の財産です。

団員減少が深刻化する昨今、先輩方が築いてこられた「歴史と伝統」を誇りとし、OB団員の皆様のお力をお借りしながら、これからも地域における防災体制の中核的存在として、消防力の強化に努めてまいります。

## 写真募集中(議会だよりに掲載させていただきます。)

広報常任委員会  
委員長 山口 力  
副委員長 杉本 秀明  
委員 出羽 和平  
委員 水越 茂広

編集後記

九月定例会が終わり、「議会だより」の発刊となりました。今定例会はいわゆる「決算議会」と言われ、例年、会期を長く取るため、「議会だより」を村の広報と一緒に皆様に渡すことができません。そこで、十月になってから議員がそれぞれの地域を配布しています。この広報では、先日の広報委員研修で指摘された、見出しにインパクトをつける工夫をしてみました。(水越茂広)